

## 令和7年度 湖南省教育研究会 視聴覚部会研究報告

- (1) 郡市名 湖南省
- (2) 研究テーマ 教育メディアが拓く、豊かな感性、そして確かな学びと生きる力へ  
～湖国からの発信～「学び」「心」そして「響き」へ
- (3) 研究組織  
小学校部会支部長 湖南省立菩提寺北小学校 教頭 山浦 良平  
中学校部会支部長 湖南省立日枝中学校 校長 西村 信二  
運営委員・研究推進委員 湖南省立水戸小学校 教諭 長井 悠輔
- (4) 年間の事業報告  
2月 研修会(オンライン)
- (5) 実践事例  
教科等: 自立活動  
学 年: 6年生  
題材名: 「どうして?」「どんな?」雑談をしよう

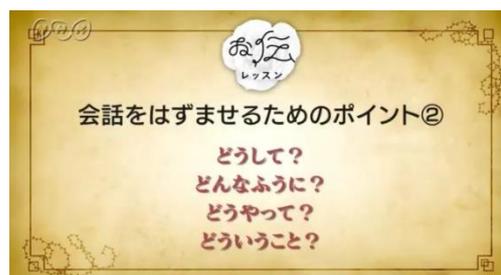
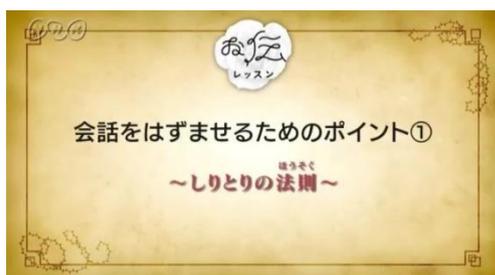
### 1 授業のねらい

本授業の対象児童は、中学校に向けて、発表を頑張ったり、ペアやグループワーク時の友だちとのコミュニケーションを上達させたいというめあてをもっていた。そこで、今回の学習を通して、友達と自然な会話を続けるための具体的なコミュニケーションスキルを身につけることを目的とした。

### 2 授業の概要

- ① 導入: 前時までに記入した中学校に向けて頑張りたいことを振り返り、友だちとのコミュニケーションを上達させたいという課題を確認した。
- ② 本時のめあて確認  
「友だちといろいろな話ができるようになろう」を掲げ、児童が意識する点を確認した。
- ③ 映像教材での学習  
NHK for School『お伝と伝じろう』「会話のキャッチボール」を視聴し、会話の基本構造を視覚的に理解させた





④ 会話を続けるための2つの法則の理解

動画内に出てきた、「しりとりはらりの法則」「どうしての法則」の2つのルールを紹介確認し、「話題を拾う」「疑問をもつ」といった技能を具体化した。

⑤ 教師との会話実践

教師と実際に「しりとりはらりの法則」「どうしての法則」を活用して、雑談に挑戦した。

⑥ 振り返り

本時で学習した内容を再度確認した。

(6) 成果と今後の課題

本実践では、動画教材を活用したことにより、子どもの学習がより分かりやすく進む様子が見られた。動画は視覚的な情報を伴って内容を示すため、言葉だけでは想像しづらい場面も、子どもは具体的なイメージをもって学習に取り組むことができた。映像によって理解が深まる場面が多く、「なるほど、こういうことなのか」と学習内容と結びつけながら主体的に学ぶ姿が増えたことは大きな成果である。

また、今回使用した動画には、会話の流れを示すデモンストレーションが含まれていた。登場人物の話し方や表情、受け答えの様子など、文章では説明しにくい点を具体的に示すことができたため、子どもは会話のイメージをつかみやすかった。その結果、実際の会話でも相手の話を聞き、学習内容を整理しながら落ち着いて発言する姿が多く見られた。

今回の実践を通して、動画教材の有用性をあらためて実感する一方で、その十分な活用には課題が残されていることも感じた。NHKをはじめとして、授業に取り入れられる動画教材は非常に多く提供されている。しかし、どのような動画があるか全てを把握しきれておらず、教材の持つ可能性を十分に生かし切れていないと感じる。教員同士で日常的に情報交換できる環境をつくることで、「この動画はこういう場面で役立った」という実践が学校全体に広がり、動画教材の活用がより豊かになるようにしたい。

今後は、動画を単に視聴させるだけでなく、児童の理解や活動と結びつける授業設計を意識しながら、動画教材をより計画的に活用していきたい。そのためにも、教員間での情報共有を密にし、互いの知見を生かし合える体制を整えていくことが重要であると考えている。